

43 慢性血栓性肺高血圧症特発性慢性肺血栓性肺高血圧型  
臨床調査個人票 (2. 更新)

ふりがな			性別	1. 男 2. 女	生年 月 日	1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成	年 月 日生 (満 歳)
住所	郵便番号		電話 ( )		出 生 都 道 府 県	発病時在住 都 道 府 県	
発病年月	1. 昭和 2. 平成	年 月 (満 歳)	初診年月日	1. 昭和 2. 平成	年 月 日	保険種別	1. 政 2. 組 3. 船 4. 共 5. 国 6. 老高
身体障害者 手帳	1. あり (等級 ____ 級) 2. なし		介護認定	1. 要介護 (要介護度 ____) 2. 要支援 3. なし			
生活状況	社会活動 (1. 就労 2. 就学 3. 家事労働 4. 在宅療養 5. 入院 6. 入所 7. その他 (____))						初回認定年月
	日常生活 (1. 正常 2. やや不自由であるが独力で可能 3. 制限があり部分介助 4. 全面介助)						1. 昭和 2. 平成 年 月
受診状況 (最近6か月)	1. 主に入院 2. 入院と通院半々 3. 主に通院 (____/月) 4. 往診あり 5. 入通院なし 6. その他 (____)						
発症と経過 (具体的に記述)							
【WISH入力不要】							
現病歴	(身長 cm 体重 kg 測定年月 平成 年 月)						
	(1) 初発症状(みられたものすべてをチェックする)						
	1. 労作時の息切れ 2. 疲れやすい感じ 3. 胸痛 4. 失神 5. 咳嗽 6. 血痰 7. 下肢の腫脹・疼痛						
	(2) 受診動機 1. 自覚症状 2. 検診異常 3. 他疾患 4. 不明						
主要症状 臨床所見	(3) 右心不全の既往 1. あり 2. なし						
	(4) 記載日時点でのNYHA 心機能分類 1. I度 2. II度 3. III度 4. IV度						
	(1) 労作時の息切れ3か月以上持続する息切れ (II-III度以上) 又は易疲労感 1. あり 2. なし						
	(2) 急性例にみられる臨床症状 (突然の呼吸困難、胸痛など) の既往 1. あり 2. なし						
	(3) 下肢の腫脹及び疼痛の既往 1. あり 2. なし						
(4) 肺野での肺血管性雑音の聴取 1. あり 2. なし							
(5) 肺高血圧症を示唆する聴診所見の異常							
1. あり 2. なし II音の肺動脈成分の亢進 2. IV音 3. 肺動脈弁弁口部の拡張期心雑音 4. 三尖弁弁口部の収縮期心雑音							
検査所見	動脈血液ガス (6か月以内のもの)	低炭酸ガス血症を伴う低酸素血症 1. あり 2. なし (施行年月 平成 年 月) (室内気吸入・酸素吸入: 1/分) PaO <sub>2</sub> : ( Torr) PaCO <sub>2</sub> : ( Torr) A-aDO <sub>2</sub> : ( Torr)					
	胸部 X 線 (6か月以内のもの)	肺高血圧症を示唆する所見 1. あり 2. なし (施行年月 平成 年 月) 1. 左第II弓の突出 2. 右肺動脈下行枝の拡大(最大径18mm以上) 3. 右肺動脈下行枝の急激な狭小化、又は蛇行 4. 末梢肺血管陰影の細小化 5. 心陰影の拡大(CTR ____%)					
	心電図 (6か月以内のもの)	右室肥大所見 1. あり 2. なし (施行年月 平成 年 月) 1. 右軸偏位 (____) 度 2. 肺性P 3. V <sub>1</sub> でR ≥ 5mm又はR/S ≥ 1 4. V <sub>5</sub> でS ≥ 7mm又はR/S ≤ 1					
	心エコー (6か月以内のもの)	右室肥大所見及び推定肺動脈圧の著明な上昇 (施行年月 平成 年 月) 1. あり 2. なし 1. 右室肥大所見 2. 三尖弁逆流 ( ) 度 3. 肺動脈弁逆流 ( ) 度 4. 推定三尖弁収縮期圧較差 ( ) mm Hg					
	肺換気・ 血流スキャン (6か月以内のもの)	換気分布に異常のない区域性血流分布欠損が、血栓溶解療養又は抗凝固療法後も、 6か月以上不変、あるいは不変と推測可能である。 1. はい 2. いいえ (施行年月 平成 年 月)					

	BNP ( ) pg/ml	尿酸値 ( ) mg/dl	(施行年月 平成 年 月)
	6分間歩行距離 ( ) m	(室内気吸入・酸素吸入: 1/分)	最低SpO2 ( %) (施行年月 平成 年 月)
除外診断	① 左心障害性心疾患		
	② 先天性心疾患		
	③ 換気障害による肺性心		
	④ 原発性及び膠原病性肺高血圧症		
	⑤ 大動脈炎症候群		
	⑥ 肺血管の先天性異常		
	⑦ 肝硬変に伴う肺高血圧症		
	⑧ 肺静脈閉塞性疾患		
	① 特発性または遺伝性肺動脈性肺高血圧症	1. 除外できる	2. 除外できない
	② 膠原病に伴う肺動脈性肺高血圧症	1. 除外できる	2. 除外できない
	③ 先天性シャント性心疾患に伴う肺動脈性肺高血圧症	1. 除外できる	2. 除外できない
	④ 門脈圧亢進症に伴う肺動脈性肺高血圧症	1. 除外できる	2. 除外できない
⑤ HIV感染に伴う肺動脈性肺高血圧症	1. 除外できる	2. 除外できない	
⑥ 薬剤/毒物に伴う肺動脈性肺高血圧症	1. 除外できる	2. 除外できない	
⑦ 肺静脈閉塞性疾患、肺毛細血管腫症	1. 除外できる	2. 除外できない	
⑧ 新生児遷延性肺高血圧症	1. 除外できる	2. 除外できない	
⑨ 左心性心疾患に伴う肺高血圧症	1. 除外できる	2. 除外できない	
⑩ 呼吸器疾患及び/又は低酸素血症に伴う肺高血圧症	1. 除外できる	2. 除外できない	
⑪ その他の肺高血圧症 (サルコイドーシス、ランゲルハンス細胞組織球症、リンパ脈管筋腫症、大動脈炎症候群、肺血管の先天性異常、肺動脈原発肉腫、肺血管の外圧迫などによる二次的肺高血圧症)	1. 除外できる	2. 除外できない	
鑑別診断	① 原発性肺高血圧症	1. 鑑別できる	2. 鑑別できない
	② 肺動脈原発肉腫	1. 鑑別できる	2. 鑑別できない
治療・経過	抗凝固療法	1. あり	2. なし
	下大静脈フィルター挿入	1. あり	2. なし
	肺血栓内膜摘除術	1. あり	2. なし
	BNP ( ) pg/ml		
	肺血栓内膜摘除術	1. あり	2. なし
肺血管拡張薬	1. あり 2. なし	[1. PGI2持続静注療法 2. ベラプロスト 3. ボセンタン 4. シルденаフィル]	
(具体的に記述)			
医療上の問題点			
【WISH入力不要】			
医療機関名			
医療機関所在地			
電話番号 ( )			
医師の氏名			
印			
記載年月日: 平成 年 月 日			